

第11回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成30年7月28日(土) 午前9時30分～
開催場所	宇陀市役所 大会議室

1 開会	会議成立の報告(委員20名に対し【20名全員】の出席) 前回会議開催時からの委員変更に伴う委員委嘱及び任命
(1) 委員紹介	委員紹介
2 会長あいさつ	委員各位には第11回子ども・子育て会議に出席いただいたことに感謝申し上げます。 また、先日の西日本豪雨被害及び大阪府北部を震源とする大規模な震災被害において非常に尊い命を失われた方につきましては、ご冥福をお祈りいたします。 平成25年8月10日に開催された第1回会議から本日で第11回目を迎えることとなりました。平成27年3月に策定された「宇陀市子ども・子育て支援事業計画」は平成27年度から平成31年度までの5年間で第1期とし、平成29年度に中間年の見直しを実施いたしました。 平成31年度に向け、もう一步進んだより良い子育てが可能な環境づくりのため、委員各位におかれましては、忌憚のないご意見をいただきたく思います。
3 議事案件	①宇陀市子ども・子育て支援事業計画における平成29年度の見込みに対する実績及び状況について ②第2期宇陀市子ども・子育て支援事業計画策定にあたって  事務局より説明【第11回会議資料】
質疑応答	以下のとおり
委員	今後、第2期宇陀市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、ニーズ調査及びパブリックコメントを実施して広く市民の方にご意見を伺う機会が増えると思います。その際には、是非とも広報等を有効活用し、実施に当たっての周知徹底に努めて頂きたいと思う。
委員	宇陀市では、人口減少が年々危ぶまれています。年間通しての流入流出される方は何人いらっしゃるのでしょうか。できれば直近の平成29年度末時点をお聞きしたい。
事務局	平成28年・29年度で回答いたしますと、平成28年度末(平成29年3月末)時点での市内人口は 3万1460人、平成29年度末(平成30年3月末)時点では市内人口3万900人の方が居住しており、この一年間で560人の減少となっています。 年を重ねるごとに、人口減少は宇陀市にとって深刻化しており、子ども・子育て支援事業計画における子育て支援及び子育て世帯のサポートが肝要と認識しております。
委員	学童保育について、共働きのご家庭もたくさんある中で、高学年になると留守番ができるようになるとはいえ、夏期・冬期等の長期的に学校が休校となる際は、やはり児童を心配する声もあるかと思う。長期休暇中等の学童保育室の開室についてお聞きしたい。
事務局	学童保育については、事業開始当初は小学3年生までが入室可能であったが、平成27年度から新制度が始まり小学6年生まで利用可能となりました。しかし、利用幅の拡張に伴い、市内学童保育室にて入室をお待ち頂いている高学年の児童がおられるというのが現状です。 各関係機関との連携を図りつつ空き教室の有効活用、保育にかかる人材確保等の課題について協議し、待機児童解消に向けて前向きに検討して参ります。
委員	先の大規模な地震により、多くの悲しい出来事が起こりました。その中でもブロック塀に関して大きく話題があがりましたが宇陀市内においても、子どもがたくさん集まる教育・保育施設のブロック塀に関しての耐震措置についてお聞きしたい。
事務局	市内の教育・保育施設についてブロック塀の設置状況を調査したところ、保育所・認定こども園・幼稚園においては、7園中3園でブロック塀を設置していました。その内2園は耐震措置が必要であった為、早急に耐震強度を高める為控え壁を設置し、またブロック塀をとり壊し目隠しフェンスを新たに設置することで対応いたしました。 小・中学校においても同時期に同じ調査を実施した結果、10施設中1施設において、耐震措置が必要なブロック塀があり、塀の高さを低くする為に上3段を切り落として1.2メートル以下に抑え耐震対策を実施いたしました。
4 閉会	